

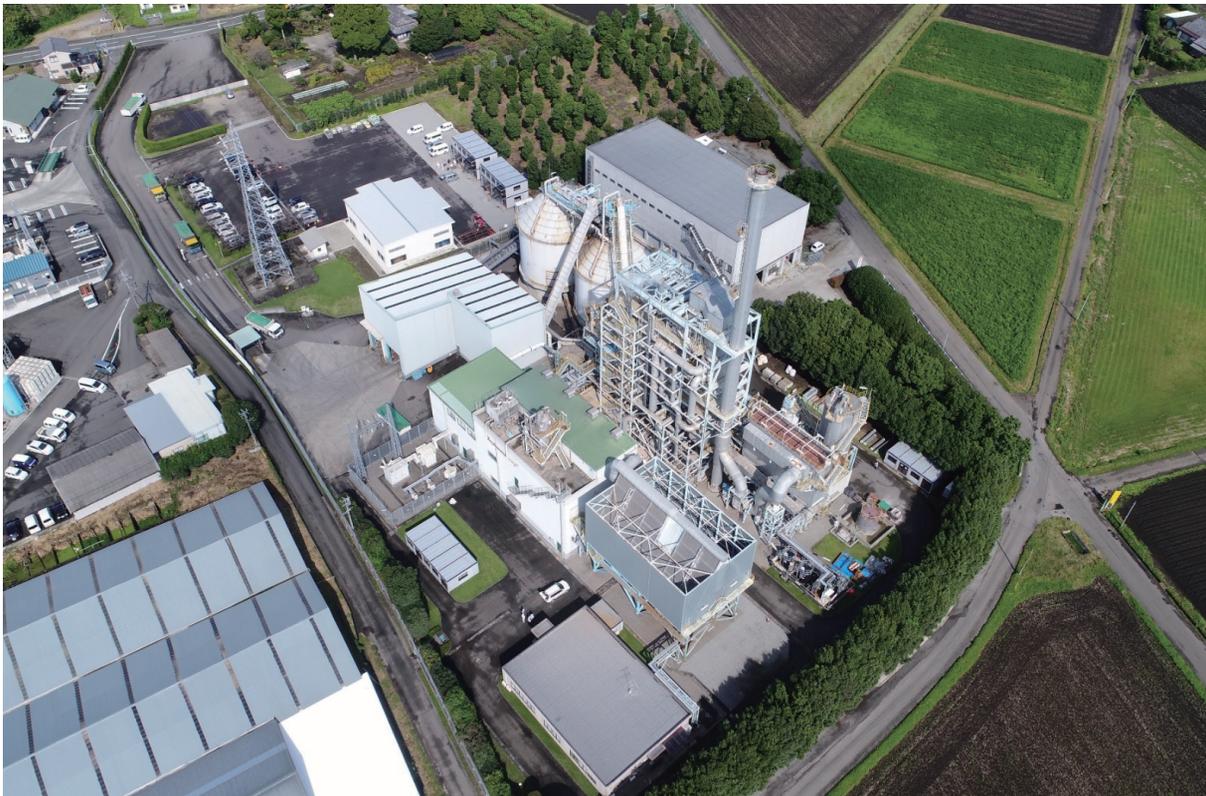
## 「みやざきリサイクルバイオマス発電所」 地域の課題解決、日本最大の鶏ふん発電

宮崎県内の養鶏農家やブロイラー会社と協働し、鶏ふんを燃料として有効活用するバイオマス発電事業です。

宮崎県は全国で一、二を争うブロイラー生産地域ですが、鶏ふんの野積み等の不適切な処理により、悪臭、地下水汚染等の環境問題が顕在化していました。

これまでは、鶏ふん利用は肥料が中心であり、バイオマス発電では事業性確保が難しいとされていましたが、年間約13.2万t(400t/日)の鶏ふんをボイラーで直接燃焼して発電し、約90%という高い稼働率を維持しています。

発電後の焼却灰は肥料として利用し、土壌の改善にも貢献しています。



- 【設備容量】 11,350kW
- 【所在地】 宮崎県児湯郡川南町
- 【運転開始】 2005年5月
- 【使用燃料】 鶏ふん
- 【事業会社】 みやざきバイオマスリサイクル(株)  
[九電みらいエナジー(株)42%出資]
- 【事業パートナー】 農事組合法人 児湯食鳥宮崎生産者組合、宮崎環境保全農業共同組合、農事組合法人 みやざきバイオマス利用組合、(株)児湯食鳥、日本ホワイトファーム(株)、(株)ウェルファムフーズ、(有)山下商事